



主な内容

- 総合防災訓練 2
- 平成23年11月11日「野々市市」誕生! ... 6
- Nonoichi クローズアップ 8

野々市小学校にて防災訓練の様子
(8月28日撮影)

2011年11月11日

の の い ち し
野々市市が誕生します

避難施設へ安全に逃げる

■拠点避難所

食料品や生活用品を備蓄しており、避難者の一時的な避難生活が可能

①野々市小学校（本町5-3-1 ☎248-0084）

本町4丁目・5丁目・6丁目、白山町、三納、位川、太平寺、堀内、田尻町、郷町、蓮花寺町、柳町、徳用町

②御園小学校（稲荷4-128 ☎248-3201）

稲荷、三日市町、二日市1丁目、二日市町、長池、押越、野代、御経塚

③菅原小学校（菅原町20-1 ☎246-6066）

本町2丁目・3丁目、高橋町、扇が丘、住吉町、菅原町、矢作

④富陽小学校（中林5-70 ☎246-4380）

上林、中林、末松、藤平、清金、下林、新庄、栗田、藤平田

⑤館野小学校（押野3-71 ☎248-0622）

本町1丁目、若松町、横宮町、押野

⑥野々市中学校（三納300 ☎246-0115）

本町5丁目、扇が丘、住吉町、菅原町、白山町、三納、藤平、位川、上林、中林、末松、清金、下林、新庄、栗田、藤平田、矢作、太平寺

⑦布水中学校（押野2-100 ☎248-0039）

本町1～4丁目・6丁目、若松町、横宮町、高橋町、稲荷、堀内、田尻町、三日市町、二日市1丁目、二日市町、徳用町、郷町、蓮花寺町、柳町、長池、押野、押越、野代、御経塚

※拠点避難所はそれぞれ小中学校2カ所が割り当てられています。
状況に応じて避難してください

■一時避難所

拠点避難所へ移動するための一時的な避難所であるが、災害の規模により、そのまま避難所として使用可能

⑧町民体育館（下林3-97 ☎248-1223）

⑨スポーツセンター（押野2-30 ☎294-5511）

⑩交遊舎（二日市1-2 ☎294-8166）

⑪中央公民館（本町2-1-20 ☎248-0521）

⑫郷公民館（田尻町94 ☎248-0250）

⑬青少年センター（住吉町17-10 ☎246-0250）

⑭防災コミュニティセンター（本町1-2-50 電話なし）

問い合わせ 環境安全課 自治安全担当（☎227-6051）

災害や避難の情報を入手する

えふえむ・エヌ・ワン

災害時、町から発表する緊急情報はえふえむ・エヌ・ワン（76.3MHz）で放送します。日頃からラジオを聴く生活をしましょう。



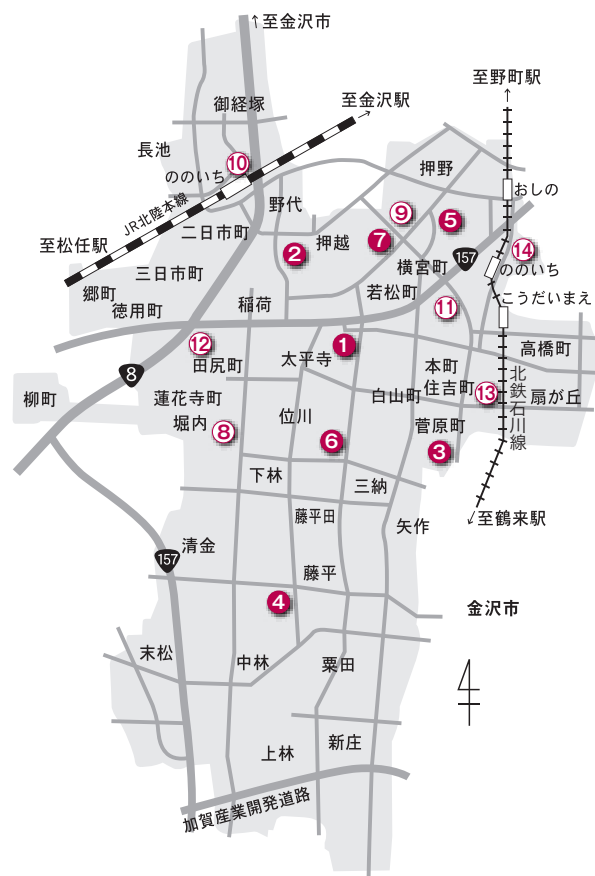
ほっとHOTメールののいち

町は防災、防犯・交通安全、生活情報を携帯電話やパソコンにメールで配信しています。現在1,300以上の登録があります。

登録・申し込みは右下の二次元バーコードを読み取り、空メールを送ってください。

本登録案内メールが届きますので、案内に従って配信を希望する情報を選択してください。

問い合わせ 広報情報課 ☎227-6056



被害の状況によっては、左記の避難施設に避難しなければならない場合があります。日頃から避難施設までの道筋を点検し、危険箇所がないか自分の目で確認しましょう。各町内会では、町内で集まる一時的な避難場所を決めています。この場所も家族で確かめておきましょう。

拠点避難所の主な備蓄品

【食料品】 アルファ米、保存食、とん汁
【生活用品】 毛布、ゴミ袋、軍手、カセットコンロ、鍋、やかん、トイレットペーパー、懐中電灯、携帯ラジオ
【その他】 簡易担架、救助用工具、非常用バケツ、発電機、投光器、組み立て式トイレ、折りたたみヤカー、赤外線オイルヒーター

日頃からの備え

室内の点検 家具の転倒防止、高所の落下物撤去、棚の中からの飛び出し防止

火災への対策 消火器やバケツの用意

断水への対策 飲料水の備蓄、給水容器の準備

※風呂の残り湯は、火災、断水に備えて捨てないでおきましょう。

非常持出品の準備 1次持出品と2次持出品があります。1次持出品は最初に避難する時に持ち出せるよう、リュックサックに入れて用意しておきましょう。2次持出品は、救援物資が届くまで3日間程度を過ごすためのものです。

主な1次持出品

貴重品（現金、預貯金通帳、権利証書、運転免許証、健康保険証）、携帯ラジオ、懐中電灯、非常食品、水、救急薬品、タオル、ティッシュペーパー、下着、カイロ、マスクなど

想定外にも備える



総合防災訓練

8月28日(日)



九月は防災月間です。町ではそれに先立ち、毎年、八月の最終日曜日に、小学校区持ち回りで総合防災訓練を実施しています。今年は、新しくなった野々市小学校に、校区内十四町内会の住民約五一〇人が集まりました。この校区ではこれまでで最多の参加者。三月に発生した東日本大震災の影響で、住民の防災への関心が高まっています。

今回は、新たに倒壊家屋救出訓練（写真上）も加わり、住民が力を合わせて負傷者を救出する訓練も行いました。災害図上訓練（写真下）では、住民同士が災害発生時のイメージを膨らませ、熱心に地域の防災課題を話し合っていました。いずれも、住民の日頃からの連帯感が、災害時にも発揮されることを確かめ合うことができました。

日常の絆が非常時の命を守る





町敬老会

町敬老会が、9月19日(月)に文化会館フォオルテで行われました。今年は75歳以上の3,418人が対象で、そのうち1,851人が出席しました。

式では、栗町長が「先人である皆様の尽力のおかげで、今年11月に市になることが決まりました。これまで以上に住みやすいまちづくりを進めていきます」とあいさつしました。それに応えて、本町・押野地区の部では磯田洗さん(押野1丁目)が、「これまでの経験を生かし、新市の発展に協力します」と謝辞を述べました。また、町内最高齢となる103歳の安田クサさん(新庄3丁目)に記念品が贈られ、家族が代理で受け取りました。

【写真上】みんなで頭と体を動かして認知症防止！【右】午前は富奥保育園、午後は白山保育園の子どもたちが遊戯を披露【下】富奥・郷地区の部では安嶋一夫さん(三日市町)が謝辞を述べました。



米寿のお祝いを申し上げます



三納 博(三納)
体の悪いところはほとんどないと話す三納さん。長生きの秘訣はというと「何でもできることは自分でする。でも、あまり無理をしないこと」だそうです。



西野 美代子(押越1丁目)
手まりやぞうりなどを作るのが趣味な西野さん。家族は「まめに物ごとを考えたり、好きなことをするのが長生きの秘訣では」と語ってくれました。

町では、長寿のお祝いとして88歳の方へ記念品や敬老福祉金を贈呈しています。今年は町内で109人が米寿を迎えました。そのうち2人の代表者を町長が訪ね、花束などを届けました。

町の高齢人口と敬老会対象者 8月31日現在(人)

区分	男性	女性	合計
100歳以上	2	10	12
95-99歳	8	67	75
90-94歳	69	204	273
85-89歳	199	445	644
80-84歳	384	663	1,047
75-79歳	600	767	1,367
75歳以上	1,262	2,156	3,418
今年度75歳になる新敬老の人	167	182	349

住民登録 47,608人(男24,118人、女23,490人)

全国では5人に1人が高齢者(65歳以上)と言われています。平成22年10月1日現在の推計人口で比較してみると、町の高齢化率(65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合)は、15.0%。県内では23.7%となっています。

また、町民の平均年齢は39.47歳(去年は39.41歳)で、昨年より若干上がっています。※この数値は、平成17年国勢調査を基準として推計をおこなったもので、平成22年国勢調査結果とは異なります

広報担当者が被災地に行ってきました！



中山博貴主事

日ごろ、この広報のいちを作成業務している町職員が東日本大震災の被災地支援に派遣されました。業務は、り災証明発行に係る建物の被害調査活動。

一昨年までの担当業務が固定資産税だったので突然の派遣命令が。8月末まで被災地に派遣された町職員は延べ26人。現地で活動した職員が強い思いをもって帰ってきました。これら職員を代表してレポートします。

り災証明発行に係る 建物の被害調査活動

7月12日(火)から29日(金)まで石川県からの派遣要請を受け派遣された先は、宮城県名取市(面積100,077平方キロメートル。人口約7万2千人)。被災地支援活動(り災証明発行に係る建物の被害調査活動)を行ってきました。活動拠点は、市内の法務局。倉庫の荷物を片付け、急ぎよ災害対策室として、整備したそうです。また同市は県内でもいち早くGW明けからり災調査を始めたそうで、調査件数も当初に比べれば、だいぶ少なくなったそうです。

調査とは、外観(屋根・壁・基礎)の損傷具合を見る一次調査。外観に加え、内部の天井・壁・床・設備などを見る二次調査に分けられます。全壊・大規模半壊・半壊・一部損壊の4段階



↑閑上地区の様子。奥に見える山は、この地域のがれき撤去の際に集めたもの

階の判定を行い、一次調査の判定に不服があった場合に二次調査が行われました。

現地活動を通して感じたこと

テレビで見る被災地の光景：家の残骸があちこちに散らばり、道路も見えない状態。そんな光景を思い浮かべながらの出発。名取市までバスで約7時間。市内に入り、高速から見える光景は所々がれきがあるものの、そこからは被害の大きさはそれほど感じませんでした。

2日目から活動開始。最初1週間ぐらいは1次調査班として、1日約20件の現地調査。後半は2次調査班として活動。調査では、津波の影響で浸水した家屋はもちろん、地震により地盤沈下で傾いていた、内壁クロスが破れや瓦の損傷、基礎のひび割れなど多量な被害も目撃された。家の中に入ると、腰まで浸かっていた泥水が入り込んで、正直つぶされかと思つた。などといった住民の方のお話を伺いました。また、市で一番被害の大きかったのは海沿いの地域(閑上地区)で、跡形もなく家が流され、多少のがれきはあるものの見渡す限り更地のような状態

がつづいていました。「ここもだいたいぶきれいになったよ」市職員のそんな一言を聞いた時、地震から約4カ月たった今はだいぶ落ち着いたのかと感じました。また今では、ライフラインも復旧し、普段どおりの生活ができていますと聞きました。活動中は行った先々で「遠いところから来てくれてありがとう」と感謝の言葉をもらい、励みになりました。また、石川県以外の兵庫県伊丹市や大分県由布市や鹿児島県霧島市の職員の方とも同じ活動を通して交流を深めることが出来まし



↑法務局3階にて、2次班の現地調査後の様子。内閣府の指針に基づいて計算し、奥のパソコンに入力。

今後の活動に活かしたい

決して他人事ではない災害。いつでもどのような規模で起こるか分からない災害。対策も重要な面。起こったときの対処も重要です。

万が一、野々市町でこのような災害が起こった場合は、この経験を少しでも活かせるように頑張りたいと思います。

災害と防災対策の連携強化 金沢工業大学と協定を締結



協定書に調印後、固く握手する泉屋工大理事長と栗町長

防災の日の9月1日(木)、町と金沢工業大学は、災害及び防災対策に係る連携協力に関する協定を締結しました。大学全体と自治体との災害協定は県内で初めて。両者はこの協定に基づいて、今後、具体的な協力内容を協議していきます。現在、金沢工業大学のキャンパスには8千人以上の学生・教職員が通っています。災害時には互いに協力して、住民と学生・教職員の安全を守る体制ができました。

協定の要旨は次のとおりです。

1. 災害及び防災対策に関する情報の提供
2. 施設、資機材及び物資等の提供
3. 災害時の支援に要する人員の派遣と受け入れ
4. 災害及び防災対策についての研究

平成23年11月11日「野々市市」誕生！

8月12日(金)、石川郡野々市町を野々市市とする総務大臣の告示がありました。これに合わせて、野々市市の誕生をPRするため、役場庁舎と文化会館フォルテに懸垂幕を設置しました。

栗町長は、集まった報道陣の前に「野々市市誕生が確定し、喜びと安堵の思いです。市制のスタートに向けて、野々市市に住むことを誇らしく思えるようなまちづくりに取り組んでいきます」と決意を新たにしました。



野々市市誕生が確定し、報道陣にインタビューを受ける栗町長



↑10月上旬に配布するお知らせ

■「住所の表示や各種変更手続きなどのお知らせ」の配布

市になった後の住所表示や、各種変更手続きなどをまとめたお知らせを、10月上旬に法人を含む町内全世帯に配布します。各種変更手続きの参考にしてください。

また、11月11日現在野々市市に住民登録がある世帯に対し、新住所などを表記した「市制施行に伴う住所表示変更等のお知らせ」を郵送します。

市になった後の住所表示

石川郡野々市町が野々市市になることに伴い、平成23年11月11日から皆さんの住所の表示が変わります。

■住所表示の変更点

- ①「石川郡野々市町」が「野々市市」になります。(例1～3)
- ②「字」の表記がなくなります。(例2)
該当地区：字三納、字位川、字田尻町、字三日市町、字二日市町、字徳用町、字郷町、字蓮花寺町、字柳町
※「字三納」は中南部土地画整理事業の換地処分により「三納一丁目、三納二丁目、三納三丁目」になります
- ③ 町名や番地のあとに表記される数字(例1～3の○や◇)は変更ありません。
※中南部土地画整理事業区域内と字三納地区は変更されます
- ④「の」の表記がなくなります。(例3)

- (例1) 石川県 石川郡野々市町 本町一丁目○番◇号 ➡ 石川県 野々市市 本町一丁目○番◇号
(例2) 石川県 石川郡野々市町 字三日市町○番地 ➡ 石川県 野々市市 三日市町○番地
(例3) 石川県 石川郡野々市町 太平寺一丁目○番地の◇ ➡ 石川県 野々市市 太平寺一丁目○番地の◇

■その他 郵便番号、電話番号は変更ありません。

■問い合わせ 総務部市制準備室 ☎227-6028

「第4次野々市町行政改革大綱」

(推進期間：平成18年度～22年度)
平成22年度の実施状況をお知らせします。

平成22年度中の主な取り組み

1 町民との協働の推進

○広報広聴活動の充実

広報ののいちを毎月21,700部発行、えふえむ・エヌ・ワンで平日1日3回、計530時間以上、また、金沢ケーブルテレビでは、30分番組を1日2回放送及び特別番組を年間5日放送。
町のホームページへのアクセス数は159万6,767件、ホームページへの意見提案は50件。また、アクセシビリティの向上を図るとともに、バーナー広告枠を増加した。町の施設などを案内する町政パスは、17回運行。

○人材バンク登録制度の活用

「学びのサポーター」制度では36人が登録。「学びのサポーター」を活用した事業として、公民館の夏休み体験や学社連携事業などを開催(429人が参加)。

○男女共同参画の推進

寿大学や一般町民対象の講演会を開催(116人参加)。町内事業などで男女共同参画推進員による寸劇を上演するなど、継続的な啓発活動を実施。

○パブリックコメント制度の導入と施策への反映

野々市町パブリックコメント実施要綱に基づき、3件の事案の意見を募集。

○地元大学などとの連携

委員会・審議会の委員などへの就任38件、事業の講師など19件、共同事業7件、連携による教育1件、土地または建物の提供3件、そのほかの取り組み9件。

○NPO・ボランティアへの支援と連携

歩道清掃などの協力で、新たに5団体とアダプトプログラムの協定を締結。(21団体22カ所で協力)
※アダプトプログラム…公共の場所を養子にみ立て、町民(団体)が里親となり養子(公共の場所)の美化・除雪などを行い、町がボランティア保険への加入や清掃用具の提供などボランティア活動の支援を行うもの。

2 質の高い行政サービスの提供

○総合窓口サービスの充実

住民情報システムを活用し、すべての窓口で各種業務を遂行できる環境を整う。横一線の窓口カウンターで、各課が連携する形で業務を行い、利用者の負担軽減に努めている。

○公共施設予約状況システムの導入

パソコン及び携帯電話からの予約状況案内システムを導入済。

3 効率的な行政システムの整備

○新たな入札・契約方式の導入

電子入札の対象となる工事・委託業務を電子入札で実施(172件のうち168件)。また、前払金制度を拡充。

○職員提案制度の推進

自由提案、課題提案、実績提案に分けて職員から募集。応募16件のうち4件を採用。

○多様な職員研修の実施

県市町村職員研修所指定研修に42人、選択研修に6人、町研修計画による14の研修に18人が受講。

○PFIの導入

老朽化した野々市小学校の改築がPFI方式により完了。

○保育事業の民営化

北西部地区にアリス保育園を開設。また、和光保育園では第二保育園を開設し、0歳から小学校就学前まで連続した保育が可能となる。

○公用車の削減及びエコカー(低公害車)導入の検討

公用車の増減はなし。二酸化炭素削減を図るため職員向けエコドライブ教室を開催。

○徴収体制の強化

嘱託徴収員の雇用による徴収強化(収入額57,851千円)。高額滞納案件専門班による徴収強化(収入額45,689千円)。

○財政の健全化

年度目標としていた財政指標については、すべて達成。
経常収支比率93%未満達成(実績87.4%)、実質公債費比率18%未満達成(実績8.2%)、財政調整基金を標準財政規模の5%以上達成(実績14.8%)

※経常収支比率…毎年経常的に収入される一般財源(経常一般財源)が、人件費、扶助費、公債費などの毎年経常的に支出される経費(経常経費)にどの程度充当されたかを示す比率。低いほどよい。

※実質公債費比率…一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金(公営企業や一部事務組合の支払う元利償還金への一般会計からの繰入金等公債費類似経費)から普通交付税に算入された公債費を除いた額の標準財政規模に対する比率で、通常は過去3カ年の平均値を用いる。低いほどよい。

※標準財政規模…その地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常一般財源の規模(22年度…94億1,795万7千円)。

町ホームページでも公開しています。

◆問い合わせ 総務企画課総務担当 ☎227-6026



しろした あゆむ
城下 歩さん
二日市町 (17)

【主な出場大会】

- 2011年度 第2回 F I P F A ワールドカップ出場
- 2011年度 第17回 日本電動車椅子選手権 関西・北陸予選大会 準優勝
- 2010年度 第16回 日本電動車椅子選手権大会 ベスト16
- 2009年度 第15回 日本電動車椅子選手権大会 ベスト16



写真上：ミニゲームを通して、フォーメーションの確認。クラブチームでの練習風景。

右：車椅子の回転を使って、スピード溢れるボールを繰り出す城下さん



ベストなプレーで
MVPを目指す！



※電動車椅子サッカーとは：

1チーム4人。電動車椅子の前に取り付け付けたフットガードでボール(直径32.5cm)をコントロールし、前・後進や回転してのパスやシュートなどで迫力あるプレーを展開するスポーツ。電動車椅子のスピードは国際ルールで時速10km以下。プレイヤーに性別制限なく、身体障害者手帳を持ち、5歳以上で電動車椅子の操作ができれば参加可能。国際的な呼称はパワーチェアサッカーとなる

生まれつき骨成形不全症という先天的な病気のため、小さい頃から車椅子を使っている城下さん。11月からフランスで行われる第2回 F I P F A (国際電動車椅子サッカー連盟の略) ワールドカップ2011に日本代表選手として出場します。

現在は、クラブチーム「金沢ベストブラザーズ」で月2回の練習。父(修一さん)は以前、クラブチームの監督。母(由香里さん)はクラブチームのメンバー。両親がこのスポーツに携わっていたことがきっかけで、小学校3年生の時から始めました。「練習をつらいと感じたことは特にないです。自分のモットーは、楽しんでプレーをすることなので、毎回楽しいです」また、「中学3年生の弟(侑樹さん)」もいろいろと手伝ってくれるし、家族みんなが1つの事に向かっていることで、競技に集中できます」と家族への思いを語ってくれました。

4年前の第1回大会では、16歳以上という年齢制限があったため出場できませんでしたが、今回、最年少ながらチーム内での実力は折り紙つき。トップ下で攻撃を組み立てる要のポジションを担う城下さん。「自分でゴールを決める事はもちろん嬉しい。でも、この競技はアシストが重要なポイント。そこで自分らしさを表現したいです」目先の目標は、ワールドカップ「世界1」(個人的にはMVPをを目指しています)」と目を輝かせていました。

「将来の夢は」と聞くと、「第3回大会も出場して活躍したいし、これからもこの競技に長く携わっていきたい。でも、他にもやりたいことがあるので正直まだ分かりません」今春受験の高校3年生。彼の可能性は、まだまだ広がっています。

スポーツの秋！
世界に挑戦する町民をクローズアップ！

「自分にあうスポーツだ。俺ならできる！」初めてカヤックを体験した時にこう思った石原さんは、今年6月にドイツで行われたICFカヌーフリースタイル世界選手権※スクオート部門で銅メダルを獲得しました。

きっかけは、20歳の時に偶然、カヌー専門店を見かけ興味を持ったこと。競技を始めてから三年後、実力を試したいと思い、試合に出場。しかし、最初は思うような結果がでませんでした。練習を重ねた結果、24歳の時に全日本選手権で優勝。「運が良かっただけです」と謙遜する石原さん。ただ、これをきっかけに世界を本格的に意識するようになった

と言います。現在は、週4日のロードバイクで基礎体力をつけ、週1日手取川で練習をする日々。独学で技を磨き、努力を重ねてきました。魅力について何うと「カヤックと一体となった、水の流れをコントロールできた時は、本当にうれしい」と目を輝かせていました。

「目標は、世界1」。競技する以上は、勝つことを貪欲に追及していきたい。また、若い人にもいろいろなことを伝え、自分の教え子と世界で競いたい」と夢を語ってくれました。現在、二年後のアメリカ大会での世界1を見据え、着実に歩を進めています。

※スクオートとは…

持ち時間の中で川の流れを利用してカヤックを縦横自在に回転させ、技の難易度、パフォーマンスをアピールする競技



写真左：今年6月の世界選手権大会での受賞シーン
下：水面に激しく切り込み、技を繰り出す石原さん



【主な出場大会】

- 2011年 ICFカヌーフリースタイル世界選手権ドイツ大会 スクオート 銅メダル
- 2011年 第16回 ジムスナイダーカップ長野大会 1位
- 2009年 ICFカヌーフリースタイル世界選手権スイス大会 スクオート 銀メダル
- 2008年 カヌーフリースタイル日本選手権山形大会 スクオート 1位

悲願の金メダルへ
目指せ世界1！



とおる
亨さん
中林 (39)





いたる
至さん
栗田 (29)

みねふじ
嶺藤

※デフバスケットボールを 体力の続く限り続けたい

- 【主な出場大会】
- 2011年度 第3回世界デフバスケットボール選手権大会 日本代表
 - 2008年度 第42回全国ろうあ者体育大会 優勝
 - 2008年度 第6回全国デフバスケットボール選手権大会 準優勝



写真右：相手選手を鮮やかに抜き去る華麗なドリブル

※デフバスケットボールとは…
聴覚障害者（デフ）によるバスケットボールのこと。試合中は、チームメイトの声、ドリブルの音、審判の声や笛の音などすべての音が全く聞こえない状態でプレイします。試合では、審判が黄色い手袋を着用、コートの特角で審判の笛の音が鳴ると旗を振って合図をするシステムになっています。
※競技中は補聴器の着用が禁じられています

栗田在住の嶺藤さんが、イタリアで9月16日から行われた第3回世界デフバスケットボール選手権大会に出場しました。生まれつき聴覚に障害をもつ嶺藤さん。今回は、手話通訳士を介して話を聞きました。

小学5年生の時、友達に誘われて始めたバスケット。高校時代に一旦離れた時期もありましたが、岡山での専門学校時代に再開。京都まで同じ障害を持つチームの練習に参加したり、石川に戻ってからは2、3カ月に1回、長野まで練習をしに行っていました。現在は地元クラブチームの練習に週2日ほど参加しています。

以前の目標は、デフバスケットボールの日本代表選手になること。25、27歳の時に代表選手を選手トライアウトに挑戦。代表候補選手に選ばれましたが、代表チーム選手として声はかかりませんでした。年齢的にもラストだと思ったという今年、3度目の正直で見事代表選手に。「合宿中の練習はハードでした。また、一般の大学生と練習試合をした時、コミュニケーションをとるのが難しかったです」と苦労を伝えてくれました。イタリアに出発前、この大会への思いはと聞くと、「世界の選手はレベルも身長も高い。なんとか1勝したいですね」と真剣な表情で伝えてくれました。

今は結婚し、2児のパパ。「家庭の時間も大切にしたいので、バスケットをする時間は減りました」と苦笑いする嶺藤さん。好きなバスケットを体力が続く限り続けたいという彼の挑戦はこれからも続きます。



写真上：星稜高校レスリング場で行っている練習風景
左：素早い動きで相手のふところに飛び込む得意のタックル



初の世界大会で5位入賞 目標は、オリンピックで金メダル



しみず
清水

こうき
洸希さん
本町 (15)

小さい体が 大きな選手をねじ伏せる

清水洸希さん野々市中学校3年生が、タイのバンコクで8月5〜7日に行われたアジア・カデット選手権大会（レスリング競技）に日本代表として出場。男子フリースタイル42キロ級で5位に入賞しました。

レスリングと清水さんとの出会いは、幼稚園の時。同級生の父親がレスリング教室のコーチをしていて、誘われたのがきっかけ。最初は遊び感覚でしたが、小学1年生のとき、現在の金沢レスリングクラブの川井コーチに声をかけら

れました。「大会で負けて号泣している負けず嫌いな洸希の姿を見て、この子は将来伸びるんじゃないかと思いました」とコーチは当時を振り返ります。小学4年生で全国大会優勝、今や日本を代表する清水さん。週に4日のチーム練習の他に、週3日ほどコーチとマンツーマンのトレーニングをして汗を流しています。ほぼ毎日の練習に「走ったりする基礎トレーニングはあまり好きではないけれど、レスリングは毎日していても全く苦にはなりません。本当に楽しいです」と笑顔で話してくれました。

初の世界大会、食べ物が合わなくて、コンディショニングに苦労したそうですが、初戦となった2回戦では、モンゴルの選手に見事ストリート勝ち。準決勝・3位決定戦では惜しくも敗れてしまいました。「相手選手の筋力や体力の違いをすごく感じました。その中でも、自分の持ち味のタックルがうまく出せたのは良かったです」と、大舞台での貴重な経験の中でしっかりと自分を認めなおせたようです。

今後の目標はと聞くと「オリンピックで金メダルをとることです」と力強い答えが。ひたむきに練習を重ね努力する姿に、今後の活躍が期待されます。

- 【主な出場大会】
- 2011年度 アジア・カデット選手権大会 男子フリースタイル42キロ級 第5位
 - 2011年度 JOC杯全日本ジュニアレスリング選手権大会 男子フリースタイル42キロ級 第2位
 - 2011年度 全国中学生レスリング選手権大会 男子フリースタイル42キロ級 第3位
 - 2011年度 中部日本大会 男子フリースタイル42キロ級 優勝

「オリジナルナンバープレート」 デザインが決定！



※標識番号は見本用の番号です
※11月11日(金)以降、ナンバープレートはオリジナルプレートのみの交付となり、旧デザインのプレートは交付しません
※標識番号は、現在、交付している野々市町ナンバーからの続き番号となります(例) 50cc以下の標識「野々市市い60**」から交付予定
※ナンバープレートの番号指定は受け付けません

野々市町の市制施行を記念して、平成23年11月11日より原動機付自転車などの市で交付するナンバーがオリジナル(ご当地)ナンバープレートになります。ただし、すでに交付されている野々市町のナンバーは11月11日(金)以降も使用可能です。
交付開始日 11月11日(金)午前8時30分から
場所 税務課(役場2階)
※旧ナンバーから新ナンバーへの変更も可能です。希望者は印鑑と旧ナンバープレートを持参して下さい。

【特徴】
■全体の形は、町民憲章に謳っている「愛と和」の精神から和「輪(わ)」をイメージできる楕円形
■デザインに影のデッサンをつけることで、野々市市の頭文字「N」を浮かび上がらせている
■プレート中の左上にデザインされている花は、町花木である「ツバキ」
■近年の国際化の動きにも合わせ、野々市(nonnoichii)のローマ字表記をプレート右下にあしらっている
問い合わせ
税務課 資産税担当
☎227-6037

議会活動

8月16日～9月15日

- 8月
 - 26日 産業建設常任委員会 議員総会
 - 30日 全員協議会
 - 31日 意見書等調整会議 議会運営委員会
- 9月
 - 2日 第4回(9月)町議会定例会開会
 - 5日 議会運営委員会
 - 9日 定例会(一般質問・質疑)
 - 13日 総務常任委員会
 - 14日 教育福祉常任委員会
 - 15日 産業建設常任委員会

ご寄附

ありがとうございます

町社会福祉協議会基金へ

- ▽村 規久男様 30万円
- ▽匿名の方より 5千円

入札結果

1000万円以上(税込み)

8月分入札

- 公共下水道事業 污水管布設工事
◇二日市第二処理分区 第41工区
予定価格 2446万5千円
落札価格 2325万7千5百円
落札者 (株)野々市工建

- ◇二日市第二処理分区 第42工区
予定価格 2310万円
落札価格 2173万5千円
落札者 (有)石原建設工業
- ◇二日市第二処理分区 第43工区
予定価格 1942万5千円
落札価格 1821万7千5百円
落札者 東南建設(株)
- ◇末松処理分区 第6工区
予定価格 3108万円
落札価格 2046万4千5百円
落札者 (株)野々市工建
- 23-16 柳町地内配水管布設替工事 第3工区
予定価格 2835万円
落札価格 2429万7千円
落札者 (株)橋設備工業
- 23-17 柳町地内配水管布設替工事 第4工区
予定価格 2824万5千円
落札価格 2622万9千円
落札者 (株)橋設備工業
- 公共下水道事業 道路舗装復旧工事 二日市第一処理分区第6工区
予定価格 1207万5千円
落札価格 1123万5千円
落札者 北川ヒューテック(株)
- 準用河川十人川改修事業 護岸改修工事
予定価格 3202万5千円
落札価格 3045万円
落札者 (株)野々市工建

優良建設工事を表彰

町内の建設業者の施工技術の向上や育成を図るため、平成22年度に完成した建設工事のうち、請負金額500万円以上の工事69件の中から3件を表彰しました。

表彰業者 (株)野々市工建
工事名 準用河川十人川改修事業 護岸改修工事
工事場所 本町6丁目、稲荷1丁目地内

表彰業者 (有)石原建設工業
工事名 堀内東公園整備工事
工事場所 堀内4丁目地内

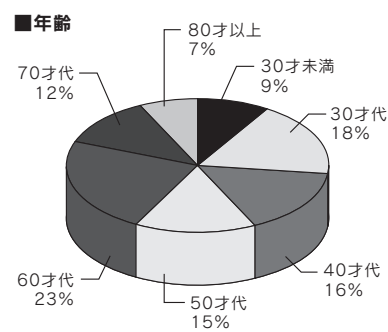
表彰業者 (株)オクタカ工業
工事名 公共下水道事業污水管布設工事 二日市第一処理分区第18工区
工事場所 蓮花寺町地内

地域福祉計画・地域福祉活動計画

地域の支え合い・助け合いを求める人には若い世代が多かった

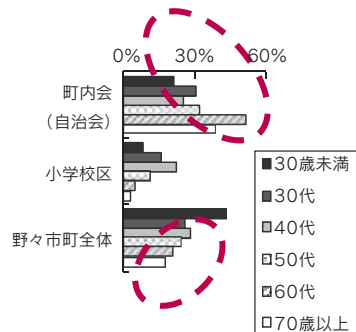
アンケート集計から

回答者の年齢は？



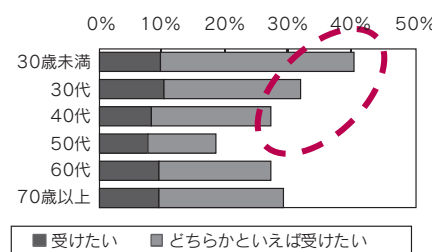
●若い世代も比較的多い
このようなアンケートを実施すると、60歳以上の回答率が多くなりがちですが、今回は30、40歳代の回答率も比較的高く、幅広い年齢の人に意見を聞くことができました。

あなたにとっての「地域」と思う範囲は？



●若い世代ほど広い
60歳以降が地域を町内会と思っていることに比べ、30歳未満は野々市町全体と思っている。若い世代ほど、地域の範囲が広いことが分かりますね！

地域住民の支援・協力を受けた いますか？



どんな年代の人たちも、地域の支援や協力を受けたと感じていました！特に若い世代の割合が多かったのは驚きですね！

10月・11月上旬の地域座談会日程(開催時間19:00～20:30)

日程	会場	該当する町内会
10月6日(木)	交遊舎	長池、二日市町、三日市町
10月20日(木)	稲荷会館	稲荷、三日市新町
10月24日(月)	堀内会館	堀内、堀内新
10月26日(水)	郷公民館	柳町、郷町、徳用町、田尻町、蓮花寺町
10月31日(月)	押越コミュニティセンター	押越、野代
11月7日(月)	保健センター	三納、矢作

地域座談会は11月まで続きます。老若男女問わず、いろんな年齢の人の参加をお待ちしております。

問い合わせ しあわせ支援課 ☎227-6063 町社会福祉協議会 ☎246-0112

地球に優しく生きる

エコ博士認定～夏休みエコ作品コンクール～

今年も、夏休みに地球温暖化防止やごみリサイクルなどの研究や工作に取り組んだ児童たちが、エコ博士に認定されました。

作品のなかには、牛乳パックを使ったおしゃれな小物入れや、古着を利用したクッションなどがありました。

作品は、9月12日(月)から16日(金)まで、小学校ごとに町内5つの金融機関で展示されました。児童たちのアイデアがちりばめられた作品や興味深い研究に、訪れた人たちは、環境保全の大切さを改めて考えているようでした。



↑捨てるはずだったものが、工夫一つで楽しい作品になりました！

安心して暮らせる地域づくり

地域座談会

町では平成24年度に「地域福祉計画」「地域福祉活動計画」の策定を目指しています。そこで、地域が抱える問題点の洗い出しを目的に8月から11月にかけて約20回の地域座談会を開催しています。8月17日(水)交遊舎で、御経塚・あやめ町会を対象に開かれ、35人が地域の支えあい、助け合いについて話し合いました。「近所の人でも声をかけづらい」「若い人の活動がもっと欲しい」などの意見が上がりました。来年4月には、専門家を含めた100人会議を開催し、今後の方向性を決める予定です。



会場を包みこむ極上の音楽にうっとり

宝くじまちの音楽会

8月25日(木)、市制施行事業の一環として、文化会館フォルテでまちの音楽会が開かれました。歌手の岩崎宏美さんが、ヒット曲「ロマンス」などで美しい歌声を披露し、オカリナ奏者の宗次郎さんも癒しの音色を披露しました。

また、このコンサートのために町内の5つの合唱団で結成された「合唱団ののいち」の団員75人と岩崎さん、宗次郎さんとの「翼をください」「浜辺の歌」の合唱もありました。その歌声に、集まった約800人の聴衆は魅了され、会場からは惜しめない拍手が送られました。



野々市の名産品をPR

日本スポーツマスターズ2011石川大会

日本スポーツマスターズ2011石川大会の会場として、17日(土)に、町民体育館でバレーボール競技、17日(土)、18日(日)には、スポーツセンターでバスケットボール競技が行われ、熱い熱戦が繰り広げられました。

両会場入り口横のテント内では、おもてなしコーナーとして、キウイワイン、野々市せんべい、ichi椿など町の名産品の一部を販売しました。訪れた選手たちは、「このお酒甘口ですか?」と店員さんに質問するなど、気に入ったものをお土産として購入していました。



夏の終わりの夢の一夜

第2回 カメリア祭り

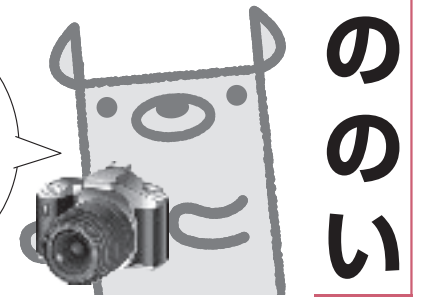


学習、創造、交流…さまざまな場として親しまれている情報交流館カメリアで、9月3日(土)にカメリア祭りが開かれました。普段からカメリアを中心に活動している団体や金沢工大・県立大の学生が、それぞれの活動紹介のブースを設け、来場者の関心を集めました。また、太鼓を中心とした和楽器のライブやジャズライブも祭りの一夜を盛り上げました。

台風の影響で一部の催しが中止もしくは室内に変更となりましたが、夏の名残を求める約500人で、会場は熱気であふれました。



市制施行記念イベント
第2回カメリア祭りも
盛況に終了しました。
来月もたくさんの
市制施行記念イベントが
行われるよ。



カメラあちこち



みっちゃんの折り紙サークルのフラワーアーチ。全部折り紙です。



カメリア・パルの会員らのIT無料体験コーナー。パソコンって楽しい！



↑9月2日(金)カメリア祭りプレイベント 朗読「風の盆恋歌」の様子

世界に開かれたまちへ

第24回 JAPAN TENT

さまざまな国からの留学生が石川に集う「第24回 JAPAN TENT」が、8月18日(木)から24日(水)にかけて開かれました。

町でも、14カ国16人の留学生が3泊4日の日程で、9世帯にホームステイしました。22日(月)には、ふるさと歴史館で勾玉づくりを体験したり、情報交流館カメリアの交歓会に参加したりしました。交歓会では、じょんから節保存会のお囃子に合わせたじょんから踊りの輪に加わり、慣れない動きにとまどいながらも、日本の文化を楽しみました。

広報ののいち 2011. 10月号 16

子 の 名	親 の 名	住 所
木村 夏菜	晋一郎	新庄2
中島 実のり	健太郎	三納
寺本 浩偉	真哲	新庄6
中村 颯真	雅成	押野5
西尾 彩	祥智	上林4
石本 葵生	智洋	太平寺3
大西 佑佳	恵陽	野代3
谷野 文音	恵淳	下林1
津田 紗那	智和	押野7
木下 愛来	優恵	新庄4

道倉 日葵	佐藤 舞	片岡 瑞歩	吉田 悠莉	西村 仁那	嶋田 彩音	寺西 理杏	坂井 優斗	高桑 遼	齋藤 心櫻	原田 香音	町田 丈類
綾和子紀	英津子進	奈雅々	保裕	瑠利亮平	智怜恵	知卓弥	優美洋平	久美子樹	麻真一	香龍昌	沙都淳
若松町	住吉町	本町2	徳用町	新庄3	本町5	下林3	御経塚3	本町2	上林4	堀内5	押野3



氏名		前住所	住所																										
永島健太郎	門野美咲	高木雄太	林香織	小西健太	荒木望由紀	柴田篤史	島田祐子	内湯潤	増崎靖恵	八日市屋奈奈	鈴木善行	武田希未	和泉明憲	五十嵐麻由美	川岸祐二	橋本真由子	梅谷内一義	川西良枝	西松知実	長松勇磨	田村暢章	西田恭子	福田陽子	葛葉克司	山本尚之	山本憲子	春田康弘	西塚友美	
金沢市	本町5	中能登町	御経塚1	野代3	野代2	中林1	金沢市	稲荷3	加賀市	二日市町	新庄5	白山市	横宮町	福井県	堀内3	堀内2	太平寺2	新庄4	矢作1	珠洲市	扇が丘	横宮町	三日市町	金沢市	三日市町	白山町	白山町	富山県	新庄3



北村 政雄	田中 朝子	行野 昭三	越田 君子	福田 文子	大川 元治	島田 昌衛
本町1	栗田2	本町4	新庄5	栗田3	本町4	新庄3
82歳	82歳	82歳	97歳	81歳	68歳	90歳

戸籍の窓

H23.8.16~H23.9.15受付分
個人情報保護のため本人・ご家族の希望があったものを掲載しています

8月末現在の人口 ()は前月比

人口	47,608人	(+ 97)
男	24,118人	(+ 49)
女	23,490人	(+ 48)
世帯数	20,432世帯	(+ 47)

8月中の人の動き

転入	246人
転出	181人
出生	55人
死亡	23人

※住民基本台帳に記載されている数字です

たかさぎ

おくやみ

“いきいき”のいち人

65

すべての事に感謝をもって人生を歩んでいきたい

崎田 真喜子さん／新庄
【左】剛さん

リレー方式で町民の方々を紹介しています

野々市町で暮らしてどうですか？
町に住んで24年になります。だいぶ風景が変わりましたね。今、子どもは大きくなりましたが、小さいころは近所の人に遊びに連れて行ってもらったり、いろいろと面倒を見てもらって、大変お世話になりました。温かみのある地域だと思います。

広報についてのご意見？
広報もお知らせ版も一通り読みますよ。リサイクル情報ダイヤルや休日当番医など他にも暮らしに関わる記事はチェックしています。

自分の性格を一言であらわすと？
おおらかなところかな。

趣味やリフレッシュ方法はなんですか？
3年前からスポーツジムに通ってます。スポーツで汗をかくとスッキリしますね。だいぶ、体力がついてきたと思います。あとは、ナンクロにはまっています。

目標やチャレンジしてみたいことは？
これからも健康でいたいですね。あとは、今までお世話になった人たちに感謝の気持ちを忘れずに、出来ることをコツコツとやっていきたいと思っています。



【今月の表紙】
東日本大震災の教訓は「想定外」の災害も必ず起きるということでした。総合防災訓練に集まった住民の中からも、この訓練だけで大丈夫かなという声も上がっていました。今年のはしご車試乗体験には子ども連れ以外にも大人同士で乗り組む姿が多く見受けられました。これも「想定外」に備えたい住民意識の表れだったかもしれません。

野々市検定

(問題は16ページ)

【第1問】C センべい、どらやきは加幸庵。チョコQは情報交流館カメラにて現在も販売中。

【第2問】B 富樫用水は木呂川と林口川に分かれます。いずれも、犀川へと合流し海へ流れます。

【第3問】B 富奥地区、押野、御経塚の計3カ所で開催されている。

編集後記

今号はスポーツで世界に挑戦する4人の町民を集。そのうちの1人、城下さんがブレールする電動椅子子サッカードを体験させてもらいました。時速6キロに設定された車椅子に乗って発進。急に加速する車に「怖っ」と一言。また見よう見まねでシュートしてみてもうまくいかず、ただボールを追うのがやっとでした。世界で活躍する選手のプレーを間近で見ることができ、楽しんで取材することができました。

(S・M) (N・H)

ケーブルテレビ9ch
のいちふれあい通信

8:00~ 8:30
18:00~18:30

テレビ広報

FM放送 76.3MHz
マイタウンのいち

月~金/ 6:30~ 7:00
11:20~12:00
16:00~17:00

ラジオ広報

声で聴く「広報のいち」 問い合わせ 橋野 千恵子 (☎248-2521)
音訳グループ「カミリーア」が、毎月広報のいちを録音したテープを作っています。また、地域ポータルサイト「のいちタウン情報局」でも、聞くことができます。目の見えない人だけでなく、活字が読みにくくなったという人もご利用ください。

音訳グループ Camellia カミリーア



秋といえば運動会...ですが、この絵のように、かけこで喝采をあげることはなく、いつもヒリヒリでした。なので、僕の役目は応援の旗を作ったり、垂れ幕を作ったりすることでした。運動のできない男子にとって、運動会は屈辱の日ですが、そうやって絵を描いたりすることによって何とか自分の居場所を確保するのでした。

稲実る田んぼと夕日。今ほど建物がなかったのに夕日はよく見えた。長〜い自分の影など、ずいぶん見てない気がする。



「絵が描ける」というのは集団の中で生きるための僕の「武器」でした。「武器」は人によって違う。「ピアノが弾ける」「字が上手」「野球が上手」「料理が得意」... 子供時代から「個性」という「武器」を持つことは大事だと思っています。



ふかしいものは皮がおいしい。皮をむいて食べるのはもったいないと思う。



米林 宏昌(よねばやし・ひろまさ)

1973年7月10日、野々市町生まれ。金沢美術工芸大学美術工芸学部産業美術学科商業デザイン専攻を中退。1996年スタジオジブリに入社。「もののけ姫」(’97)、「ホーホケキョ」となりの山田くん」(’99)では動画、「千と千尋の神隠し」(’01)で初めて原画に。その後、「ギブリーズ episode2」(’02)、「ハウルの動く城」(’04)、「崖の上のポニョ」(’08)で原画、「ゲド戦記」(’06)では作画監督補を務めた。

また、ジブリ美術館オリジナル短編作品「めいとこねこバス」(’02)では、演出アニメーターを担当。そのほか企画展示用映像「空想の空とぶ機械達」(’02)の作画監督、常設展示フィルムぐるぐる上映作品「進化論」(’08)の絵コンテ・演出なども手がけている。

2010年夏公開の「借りぐらしのアリエッティ」で初監督に抜擢された。今夏公開中のスタジオジブリ作品「コクリコ坂から」では、原画で参加している。